

●大雨や台風、地震などのもしものときには、 いろいろなところが危険ポイントに!

いろいろな災害から身の安全を守るためのポイントは、どこに、どんな危険があるかを知っておくこと。
どんな危険があるか、みんなでしっかり確認しておこう。



大雨のとき、注意した方がいい場所



※雨がふっていないとき

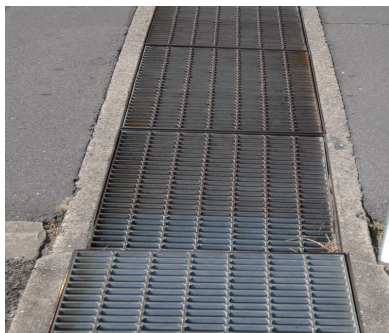
- 水につかりやすい道路
- ➡ 落ちて水に流される



※大雨で道路が水につかったとき



- フタのない側溝
- ➡ 落ちて流される



- 固定されていないフタ
- ➡ 落ちて水に流される



- 急な坂道
- ➡ 流れてくる水に足をとられる



- くずれそうなガケ
- ➡ くずれた土砂にうもれる



台風のとき、注意した方がいいこと



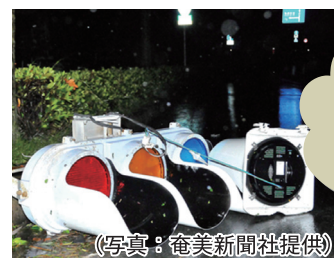
(写真: 奄美新聞社提供)

- 強い風が吹いている
- ➡ 建物がこわされる



(写真: 奄美新聞社提供)

- 物が飛んでくる
- ➡ 飛んできた物でケガする



(写真: 奄美新聞社提供)

- 信号機が折れる
- ➡ 落ちてきた信号機でケガする

外に出たらこんな危険があるから、台風
のときは外に出ない
ことが大切だよ。





地震や津波のとき、注意した方がいいこと

外では



(写真：福岡市提供)

●ブロック塀

➡ 塀がたおれてケガする



(写真：福岡市提供)

●くずれやすいガケ

➡ ガケがくずれてケガする

建物の中では



●棚やロッカー

➡ たおれてケガする



(写真：福岡市提供)

●上からの落下物

➡ 割れたガラスでケガする



(写真：岩手県建設業組合提供)

●低い土地

➡ 津波にのみこまれる

大雨や地震などのときは、危険ポイントに近づかないことが大切だよ。



危険ポイントは、ボクの身のまわりにも、いろいろあるんだね。

●まち歩きでは、安全ポイントもいっしょにチェックしよう！

身の安全を守るためには、安全な場所を知っておくことも重要です。

おススメの安全ポイント

・避難場所 ・広い場所 ・高い場所 ・外灯(安全灯) ・公衆電話 など



●上から物が落ちてこない広い場所



●避難場所



(写真：福岡管区気象台提供)

●津波がこない高い場所